

# 2018年度 第3回 大阪歯科大学医の倫理委員会 議事要旨

開催日時：2018年9月12日(水) 9時

場 所：楠葉学舎5号館3階 大会議室

委 員：中嶋委員長 樫副委員長 岡崎委員 有田委員 辻林委員  
沖永委員 要田委員 澤井委員 本田委員 西堤外部委員  
村上外部委員

議事

## 1. 審査.

1) 受付番号 30----<承認>

申請者：松本 和浩（口腔外科学第一講座 講師）

課題名：三学会合同抗菌薬感受性サーベイランスー歯科・口腔外科領域感染症

### 【承認事由】

研究申請者より本研究の概要について説明がなされた。研究実施の妥当性について審議した結果、特に問題点が見受けられなかったため承認とした。ただし、委員より下記の通り修正指導があった。

### 【修正点】

申請書類の文言を加筆修正

2) 受付番号 31----<承認>

申請者：秋山 広徳（歯科放射線学講座 講師）

課題名：パノラマエックス線画像と単純CT画像とを用いた形態学的鑑別診断法の確立  
ーエナメル上皮腫と歯原性角化嚢胞ー

### 【承認事由】

研究申請者より本研究の概要について説明がなされた。研究実施の妥当性について審議した結果、特に問題点が見受けられなかったため承認とした。

3) 受付番号 32----<承認>

申請者：元根 正晴（医療保健学部 口腔保健学科 教授）

課題名：口腔疾患と全身状態との関連の検討

### 【承認事由】

研究申請者より本研究の概要について説明がなされた。研究実施の妥当性について審議した結果、特に問題点が見受けられなかったため承認とした。ただし、委員より下記の通り修正指導があった。

### 【修正点】

申請書類の文言を加筆修正

4) 受付番号 33----<条件付き承認>

申請者：河野 多香子（口腔外科学第一講座 助教）

課題名：パミドロネートを用いた難治性のびまん性硬化性下顎骨骨髓炎の治療

【承認事由】

研究申請者より本研究の概要について説明がなされた。研究実施の妥当性について審議した結果、研究参加のお願い文の内容を一部変更することを条件とする承認とした。委員より下記の通り修正指導があった。

【修正点】

- ・ 申請書類の文言を加筆修正
- ・ 研究参加のお願い文の投与薬の副作用を具体的に記載

5) 受付番号 34----<承認>

申請者：藤林 由利安（医療保健学研究科 口腔科学専攻 大学院1年生）

課題名：大阪歯科大学 歯科衛生士復職支援・離職防止等推進事業の調査結果に基づく  
研修法についての検討

【承認事由】

研究申請者より本研究の概要について説明がなされた。研究実施の妥当性について審議した結果、特に問題点が見受けられなかったため承認とした。ただし、委員より下記の通り修正指導があった。

【修正点】

- ・ 申請書類の文言を加筆修正
- ・ 研究課題名を研究目的に合ったものに変更

6) 受付番号 35----<承認>

申請者：南部 隆之（細菌学講座 講師）

課題名：アミノレブリン酸と LED 光を用いた口腔細菌叢に対する光線力学的殺菌  
効果の検証

【承認事由】

研究申請者より本研究の概要について説明がなされた。研究実施の妥当性について審議した結果、特に問題点が見受けられなかったため承認とした。ただし、委員より下記の通り修正指導があった。

【修正点】

- ・ 申請書類の文言を加筆修正
- ・ 研究課題名修正

7) 受付番号 36----<承認>

申請者：池田 千浦子（口腔病理学講座 助教）

課題名：歯髓腔の形態を理解するための標本と模型に関する基礎的研究

【承認事由】

研究申請者より本研究の概要について説明がなされた。研究実施の妥当性について審議した結果、特に問題点が見受けられなかったため承認とした。

8) 受付番号 37----<承認>

申請者：谷 亜希奈（医療保健学研究科 口腔科学専攻 大学院1年生）

課題名：除菌効果を高めた新しい義歯洗浄剤の使用法と有効性

【承認事由】

研究申請者より本研究の概要について説明がなされた。研究実施の妥当性について審議した結果、特に問題点が見受けられなかったため承認とした。ただし、委員より下記の通り修正指導があった。

【修正点】

- ・申請書類の文言を加筆修正
- ・研究課題名修正

9) 受付番号 38----<承認>

申請者：楠本 哲次（医療保健学部 口腔工学科 教授）

課題名：学生参加型の授業形態を取り入れた医療保健学部オーラルアプライアンス学の学生による評価

【承認事由】

研究申請者より本研究の概要について説明がなされた。研究実施の妥当性について審議した結果、特に問題点が見受けられなかったため承認とした。

10) 受付番号 39----<承認>

申請者：楠本 哲次（医療保健学部 口腔工学科 教授）

課題名：クラウンブリッジ製作時における間接法の問題点や課題を実体験できる実習の取り組みと学生による評価

【承認事由】

研究申請者より本研究の概要について説明がなされた。研究実施の妥当性について審議した結果、特に問題点が見受けられなかったため承認とした。ただし、委員より下記の通り修正指導があった。

【修正点】

- ・申請書類の文言を加筆修正

- ・研究課題名修正

## 2. 研究計画変更の申請について

- 1) 研究期間の2年延長、研究方法の変更、担当者の所属変更---《承認》

申請者：前嶋 亜優子（医療保健学部 口腔保健学科 助教）

課題名：歯科衛生士学生における学習意欲の検討

承認番号：大歯医倫第110929号

### 【変更後の内容】

研究期間の2年延長、研究方法の変更、担当者の所属変更

## 3. 研究計画の変更について

- 1) 所属長の変更、担当者の追加・削除---《承認》

申請者：真下 千穂（細菌学講座 講師）

課題名：大阪歯科大学医療保健学部口腔保健学科学生に対する ICT（情報通信技術）を  
利活用したアクティブラーニングによる細菌学実習の効果

承認番号：大歯医倫 第 110942 号

### 【変更後の内容】

所属長の変更、担当者の追加・削除

- 2) 所属長の変更、担当者の追加---《承認》

申請者：真下 千穂（細菌学講座 講師）

課題名：口腔細菌に対するはちみつ産品、プロポリス抽出物、ビルベリー抽出物、  
メリンジョ種子抽出物及びエキナセア抽出物の影響

承認番号：大歯医倫 第 110965 号

### 【変更後の内容】

所属長の変更、担当者の追加

- 3) 担当者の職名変更、担当者の追加---《承認》

申請者：川本 章代（高齢者歯科学講座 講師）

課題名：歯肉溝滲出液中の miRNA を用いた歯周病と全身疾患の関連性調査

承認番号：大歯医倫 第 110938 号

### 【変更後の内容】

担当者の職名変更、担当者の追加

## 4. 研究終了報告書・研究成果報告書について

- 1)

申請者：森田 章介（口腔外科学第一講座 主任教授）

課題名：公益法人日本化学療法学会・社団法人日本感染症学会・日本臨床微生物学会三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス ―歯科・口腔外科領域感染症―

承認番号：大歯医倫 第 110758 号

2)

申請者：神 光一郎（医療保健学部 口腔保健学科 准教授）

課題名：4年制大学で歯科衛生士・歯科技工士を目指す学生に対する早期臨床体験学習の効果について

承認番号：大歯医倫 第 110970 号

## 5. 大阪歯科大学ヒト ES 細胞の使用に関する規程（案）について

ヒト ES 細胞の使用に関する規程（案）について、副委員長よりご説明いただいた。本規程案を各委員へ確認したが、特に指摘事項が無かったため、次回の主任教授会へ提出することで承認いただいた。

## 6. e ラーニングアンケート調査の回答状況について

前回の医の倫理委員会にて承認された臨床研究教育に係わる e ラーニングアンケート調査を 8 月 10 日に歯学部のある全国国公立大へ依頼したことを委員長よりご説明いただいた。

また、9 月 11 日時点での各大学からの回答状況と回答用紙を委員に確認いただいた。次回の医の倫理委員会では、e ラーニングアンケート調査の集計結果を委員へ確認し、e ラーニングシステムの導入可否、導入する e ラーニングシステム、費用負担部門を決定することとなった。

## 7. 医療保健学研究科大学院生の所属長について

今回の医の倫理委員会において、医療保健学研究科の大学院生より新規で 2 件申請があったが、医療保健学部ならびに医療保健学研究科の所属長である小正 裕 学部長／研究科科长が体調不良で不在のため、申請書類の所属長欄に捺印をいただけないまま、書類を提出いただいた。今後も同様の状況が発生する可能性があるため、委員長より次のとおり提案いただき、各委員から承認いただいた。

### 【提案内容】

教授不在の講座と同様に、学長に代理で捺印をいただく。

## 8. その他確認事項

次回委員会は2018年11月14日（水）に開催することとなった。